※令和４年度以降入学生用

学校番号	105

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	基礎数学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、与えられた課題に対してまずは自ら考え、主体的にまじめに取り組みましょう。また、発問題においては、周りの人と協同で考える活動を行います。毎回の授業を大切にし、休まないようにしましょう。
・与えられた課題をまずは自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、必ず提示される解答と各自答え合わせをしてください。
・授業プリントやレポートなど、課題は定期的に提出してもらいます。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成 することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し，事象を数理的に処理する 技能を身に付けるようにする。 思考力，判断力，表 現力等 (2) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに 気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする 力を養う。 思考力，判断力，表 現力等 (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 学びに向かう力，人 間性等 (3) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解 決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。 学びに向かう力，人 間性等 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き，学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする 態度，数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数や式、図形、関数及びデータ分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の仕方などの技法を身につける。	・数や式、図形、関数及びデータ分析についての基礎的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考えて表現したり、それを基に発展的、総合的に思考する力を身につける。	・数学のよさを認識し、日常的な事象に対して数学を活用しようとしたり、論理的根拠に基づいて物事を判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式の計算	･分数の計算 ･比の計算	a:・分数の四則計算を理解し、適切に処理することができる。 ・比の概念、計算方法を理解し、適切に扱うことができる。 b:問題解決の際に、すでに学んだ計算方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりすることができる c:学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表 提出物	発表 提出物 観察

※令和４年度以降入学生用

	整数の性質	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・最大公約数と最小公倍数	a:・約数、倍数の意味を理解、適切に扱うことができる。 ・自然の正の約数やその個数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解し、扱うことができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求める方法を理解し、適切に扱うことができる。 b: 問題解決の際に、すでに学んだ計算方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりすることができる c: 学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表 提出物	発表 提出物 観察
２学期	方程式、不等式	・1次方程式 ・2次方程式 ・1次不等式	a:・１次方程式の性質を理解し、正しく扱うことができる。 ・不等式の意味と性質を理解し、１次不等式を解くことができる。 ・２次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 b: 問題解決の際に、すでに学んだ計算方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりすることができる c: 学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表 提出物	発表 提出物 観察

※令和４年度以降入学生用

	図形	・平面図形の面積 ・立体の体積と表面積	a:・平面図形の計量のための計算手法を理解し、適切に扱うことが出来る ・角柱、円柱および角錐、円錐のような立体図形の体積の求め方を理解し、正しく処理することができる。 b:図形を多面的に捉え、目的に応じて適切に考察することができる。 c: 学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表 提出物	発表 提出物 観察
３学期	データ分析	データの分析	a:・数分布表，ヒストグラム、代表値の定義や意味を理解し，求めることができる。 ・範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し，それらを求めることができる。また，データの散らばりを比較することができる。 b:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用することができる。 c:学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 発表 提出物	発表 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度